

義に悖るのである。而して滿洲事變には三つの大きな意義を發見する。

第一は、事變を機として皇道日本主義が勃興した、即ち日本に歸れ日本の自身の姿を見よと謂ふことである。第二は、倫理統治の現れとして滿洲國に王道主義（日本の皇道主義に準へた）に基いて經營せられつゝある。第三は、大亞細亞主義の勃興である、自由平等を背景にした西洋の物質文明が東洋の精神主義に刺せらるゝことである。

從來我國の外交は屈從して止まるところを知らなかつた奉天附近に於て日本婦人が支那人の苦力三十數人に暴行されたが之に對して奉天領事は一言半句も抗議し得なかつた、之に類似の例は多數ある。

政黨政治二大政黨主義は英國流の考へ方で日本精神に則たない。五、一五事件は財閥の悪いところを改革しようと考えたので國民の精神に焼き付いてゐるからクドクドしく申さない。遼東遼南の割奪の意義を顧みよ、日比谷の機打が何故行はれたか。世界平和に貢献した日本のワシントン會議の結果は如何、列國は日本に平和を強いて彼等のなすところは何うか。滿洲事變後彼等は何故何事もなし得ないか、經濟的苦境の爲東洋に腕を振ひ得ないからである。日本が使役臣を出して經濟安定に努力してゐるが安定してドウなるか、經濟安定後アングロサクソンが睨つてゐるか、壓迫の來るとも差支なき準備を必要とする、最悪の場合に應ずる準備を必要とするのに現状は如何、共産黨分子の活動は益々潛行的になつてゐる、内部の不逞分子の策動と外部の壓迫とがあつた場合どう